

## 1 学校経営の基本理念

学校は子供の健やかな成長のためにある。学校は子供たちにとって、真の学び舎であると同時に豊かな人間性を培う場所ではなければならない。児童一人一人に「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」、すなわち生きていく上で必要な「生きる力」を育むことが多摩第二小学校の教育に課せられている。

本校は、子供のための学校として、児童の実態、地域の実態、これまでの輝かしい歴史と伝統を踏まえ、保護者や地域の信頼にこたえる特色ある学校づくりを目指す。

そのためには、本校児童の教育に携わる全ての教職員が、学校経営に積極的に参画し、使命感をもって自らの資質や能力を磨き、本校児童のためによりよい教育活動を創造していかねばならない。教育活動の推進にあたっては公教育の奉仕者として、服務規律を守り、「全ての教育活動は子供たちのために」の視点から家庭や地域と十分に連携を図りながらその使命を果たす。

## 2 学校教育目標

○考える子 ◎思いやりのある子 (重点) ○元気な子

「考える子」…基礎学力を確実に身に付け、思考力や判断力、学習意欲の高い子。

自らすすんで考え、学んだ知識を生きる知恵にまで高め上げられる子。

「思いやりのある子」…優しさや寛容の心を持ち、互いの人権を尊重できる子。

「元気な子」…健康な心と体を持ち、頑張り、やりとげる意志をもつ子。

## 3 めざす学校像・児童像・教師像

### (1) このような学校にしたい

- ① 創意のある学校 ・子供が様々な体験を通して、確実に成長できる学校。
  - ・子供の学びたい、成長したいという願いを実現させるため、教職員が互いの専門性や持ち味を生かし、さまざまな課題を共有して解決する学校。
- ② 信頼される学校 ・保護者・地域から親しみをもたれ、安心・安全な学校。
  - ・行かせてよかった、応援したいと思えるような学校。
  - ・保護者や地域の人の明るい声が響き合う学校。
- ③ 活力のある学校 ・児童・教職員が明るく、生き生きとして、美しく清潔な学校。
  - ・花と絵と音楽のある学校。
  - ・教職員・保護者・地域の人が常に子供たちのためを考えて行動し、互いに足りないことを補い合う温かな人間関係を築ける学校。

### (2) このような子供たちにしたい

- ① 確かな学力を身に付け、学習意欲の高い児童
- ② 互いの人権を大切にし、豊かな感性を持ち、思いやりのある児童
- ③ 社会性や自主性があり、自立心が高い児童
- ④ 健康な心とからだを持ち、頑張り、やり遂げる児童

### (3) このような教師でありたい

- ① 誠実な教師  
一人の人間として誠実に生き、心温かい人間でありたい。
- ② 理想をもった教師  
教育に誇りと理想をもって研修に努め、毎日の実践を積み重ねていく教師でありたい。
- ③ 学校の運営者として責任をもって働く教師  
「全校の児童を全教職員で育てる」という理念で教育にあたる。特に報告、連絡、相談を大切にする。
- ④ 家庭や地域との連携を深める教師  
家庭や地域とのかかわりを密にし、協力して子供を育てていく姿勢をもって教育活動にあたる。
- ⑤ ふれあい、高め合う教師  
互いにコミュニケーションをよくとり、仕事を通して磨き合い、資質や指導力、実践力の向上に努める。

#### 4 令和4年度の学校経営の重点

- (1) **確かな学力の育成** 指導方法の工夫改善を継続し、基礎学力や思考力、判断力、表現力等の定着を図るとともに授業で「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視する。タブレット等ICT機器の効果的な活用を図る。
- (2) **問題解決力の育成** 体験を重視し環境・人権教育を主としたSDGsを踏まえたESDを実践し問題解決力を育成する
- (3) **豊かな心の育成** コロナ関係の差別や偏見をなくし、人権教育を基盤とした道徳教育や特別活動、特別支援教育、生活指導等を充実させる。生活習慣の確立や社会性の伸長を図り思いやりの心を育てる。ここにこひまわりプロジェクトを継続する。不登校・不登校傾向児童対策を強化する。アートギャラリーを活用し感性を磨く。
- (4) **健やかな心と体の育成** オリンピック・パラリンピックのレガシー、日本文化理解、国際理解、障がい者理解を推進する。スクールカウンセラー等を活用し健康教育や保健指導を充実させ、体育授業を改善し健やかな心と体力の向上を図る。
- (5) **教育環境の整備** 校舎内外の環境整備（学級園、二小農園、固定施設等）機能的で清潔な施設・設備の維持。
- (6) **読書活動の充実** 学校図書館の活用、読書活動の推進を通して、読解力、言語力の向上を図る。
- (7) **防災・安全教育の充実** 防災や安全指導を充実させ、児童の危機対応能力の育成を図る。
- (8) **働き方改革の推進** 働き方改革をさらに推進するとともに、業務・時間・環境の改善を図る。

#### 5 今年度の具体的な取り組み

##### (1) 学習指導の充実

- ① 学習指導要領に基づき、教育課程を適切に実施し、確かな学力を身に付けさせる。
- ② 少人数指導・習熟度別指導・TT等指導法や評価の工夫改善、ICT機器(大型テレビ・タブレット端末等)、プログラミング教材等の積極的な活用に努め、「わかる授業」を推進する。
- ③ 授業研究(国語)を中心として校内研究の充実を図り、「教師の指導力」を高める。
- ④ 「おおぞら」「にじ組」の安定経営を図るため、組織的・計画的・継続的な教育活動を行う。
- ⑤ すべての学習活動の中で実体験を重視し、問題解決力を高める指導を行う。〔ユネスコスクールの活動〕

##### (2) 生活指導の充実

- ① 基本的な生活習慣を確立と学習規律や生活上のルールやマナーの定着。コロナウイルス対策の徹底。
- ② 児童・保護者との信頼関係を基盤とした積極的な生活指導を推進し、学校全体で組織的な生活指導体制を確立する。常に危機管理意識をもち問題行動の早期発見・解決に努める。〔報告・連絡・相談・確認・記録の徹底〕
- ③ 学級内の特別な支援が必要な児童の早期発見と適切な対応を図るため、特別支援教育コーディネーターを中心にした指導組織体制の充実を図る。関係諸機関との連携を密にし、健全育成と不登校傾向児童の減少を図る。
- ④ 安全指導を計画的に行い、防災や安全に対する意識や実践力を高める。

##### (3) 豊かな心を育む教育の推進

- ① 豊かな体験活動を工夫し、集団生活を通して社会の一員としての自覚や人間としての生き方について考えさせ、多様性の理解や自他の生命や人権を尊重する心を育む。〔道徳科、総合的な学習の時間の充実〕
- ② あいさつを大切に、地域や福祉施設等に学校の取組を発信する機会を設け、学校への誇りをもたせる。
- ③ 個々の良さを見つけて伸ばし、児童の自己有用感と自尊感情を高める。いじめのない学校づくりの推進。

##### (4) 開かれた学校づくりと信頼される学校づくりの推進

- ① 豊かな自然環境を活用した教育活動を推進し、積極的な情報発信(校内掲示板・学校ホームページ・学校だより・学年通信・学級通信等)や学校公開、学校行事で児童の様子を伝え、開かれた学校を目指す。
- ② 学校評価の効果的な活用を図り、家庭や地域と連携し、さらに信頼される学校づくりを目指す。
- ③ コロナ禍の中でもできる限り地域・保護者とふれあい、信頼関係の構築に努める。
- ④ 保護者・地域から信頼されるコミュニティ・スクールの実現。

##### (5) 幼稚園・保育園・小学校・中学校との連携の推進と教育環境の整備、教育予算の効率的な執行

- ① 地域の幼稚園・保育園・小学校・中学校・学童保育所等との連携を大切にし、児童の指導に生かす。
- ② 学校施設の環境美化と安全点検の重視。〔掲示物・表示・花・絵・音楽等での豊かな環境づくり。清掃活動の徹底と校内巡視の徹底〕
- ③ 予算の適正な執行、備品・消耗品の適切な管理と丁寧な取扱い、節電、ゴミ減量、ペーパーレスに努める。

##### (6) 教職員の働き方改革の推進と明るく活気に満ちた職場環境の醸成と保護者・地域との効果的な連携

- ① 教職員が誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境を整え、能力を最大限に発揮できるようにする。
- ② 効果的なOJTを推進すると共に苦手な分野は互いに補完しあい、学校組織総体として組織力の向上を図る。(得意分野は倍の働きを、苦手な分野は助け合いの精神で思いやりのある職場環境づくり)
- ③ 研修等を通して教職員の専門性を高めるとともに、保護者・地域と連携し学習内容の確実な定着を図る。
- ④ 保護者や地域、近隣大学等との効果的な連携を図り、教育活動の充実を図る。